

2005年10月
株式会社ネクステック

MPLS - IX^{*1} 相互接続に成功 (国内3組織目)

株式会社ネクステックは、2005年10月3日の日食中継^{*2}において、国内では3組織目の「MPLS-IX 相互接続」をサポートしました。

当社は、さる2005年10月3日に行われた日食中継「LIVE! ECLIPSE 2005 Annular ^{*2}」において、北海道広域高速学術ネットワーク実証実験プロジェクト(以下 NORTH boreo)をサポートし、「次世代 IX 研究会(以下 distix) ^{*3}」「地域間相互接続実験プロジェクト^{*4}」と共同で NORTH boreo 網と distix 網(いずれも **MPLS-IX**)の相互接続に成功しました。MPLS-IX 相互接続としては国内3組織目の成功事例となりました。

【協力組織】

- 地域間相互接続実験プロジェクト II (RIBB II) <http://www.ribb.org>
- 次世代 IX 研究会 <http://www.distix.net/>
- 日本テレコム株式会社 <http://www.japan-telecom.co.jp/>
- NPO 法人北海道地域ネットワーク協議会 (NORTH) <http://www.north.ad.jp/>
- 同協議会 北海道広域高速学術ネットワーク実証実験プロジェクト (NORTH boreo)

(中継ネットワークの詳細については、別紙ならびに<http://www.north.ad.jp/boreo/200510031e.html> をご参照ください)

*1 Multi Protocol Label Switch - Internet eXchange

*2 LIVE! ECLIPSE 2005 Annular (スペインマドリッドで観測される日食をネットワーク中継するプロジェクト。) 非営利団体 ライブ!ユニバース(尾久土正己会長)を中心に実施されました。
ライブ!ユニバースのプレスリリース <http://www.live-universe.org/ja/press/051003.html>
JGN2 イベント利用 074

*3 研究会の詳細は <http://www.distix.net/> をご覧ください。

*4 プロジェクトの詳細は <http://www.ribb.org/index.php?RIBB-II> をご覧ください。
JGN2 一般利用プロジェクト(プロジェクト番号 JGN2-A16020)

< 本件に関する問い合わせ先 >

株式会社ネクステック <http://www.nextech.co.jp/>

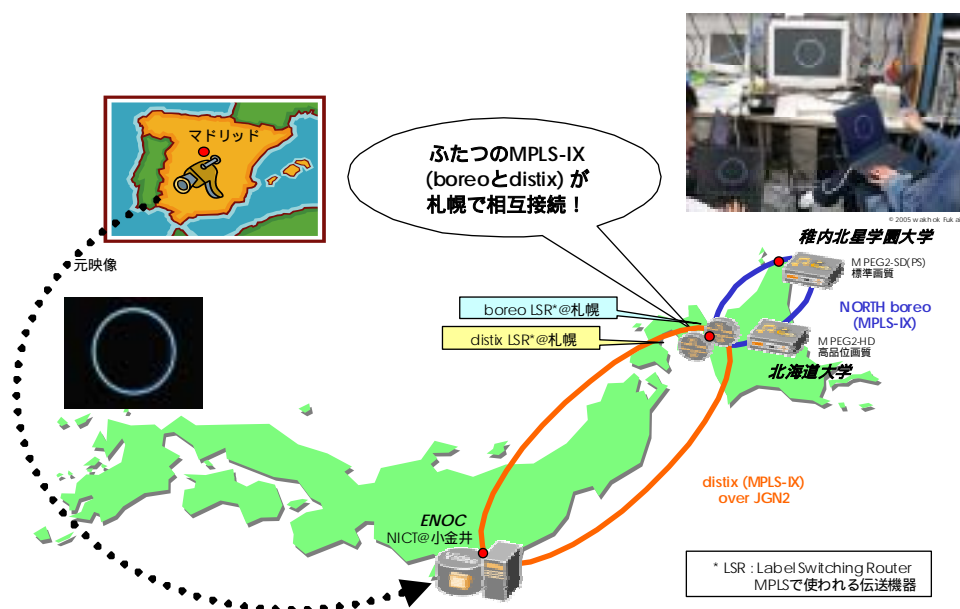
本件に関する報道関係者のお問い合わせは下記にお願いします。

株式会社ネクステック 広報担当 大谷

連絡先 : tel/fax 011-729-3711

E-mail : info@nextech.co.jp

(別紙)



MPLS-IX 相互接続による LIVE! ECLIPSE 2005 Annular 再配信概念図

NICT (東京小金井) に設置された配信拠点 (ENOC) から国内配信される日食映像を北海道内広域 (北海道大学、稚内北星大学) に再配信するため、2005年4月から NPO 法人 NORTH の実証実験として運用されている北海道域内広域 MPLS-IX (NORTH boreo) と JGN2 線を中心にいくつかの通信事業者線によって構成される次世代 IX 研究会 MPLS-IX (distix) を札幌で相互接続しました。国内における MPLS-IX 組織間接続は distix と日本テレコムとの間で確立しており、MPLS-IX が相互に接続されたのは 国内では3組織目。NORTH boreo では今後実験期間中は distix との相互接続を継続する予定です。

当社は、distix スタッフ・日本テレコム社スタッフと共同で MPLS-IX 相互接続ならびにデータ伝送の設計・設定・運用を行い、RIBB II スタッフと共同で稚内北星学園大学 - 小金井 ENOC 間、北海道大学 - 小金井 ENOC 間のピアリングの調整・設計・設定を行いました。

(映像伝送機材提供：日本テレコム株式会社、株式会社ビー・ユー・ジー)

(文中敬称略)